



デンマークの 食と暮らし研究会

NEWS LETTER AUG 2021

発行: NPO法人デンマークの食と暮らし研究所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館12F
Tel 03-3213-4801 Fax 03-3213-5406 ホームページ : <http://www.danishforum.jp/> メール: info@danishforum.jp

サッカー欧州選手権の大奮闘

6月の中旬以降、デンマークの街や広場は赤と白の服を着てDannebrog(デンマークの国旗)を持っている人々であふれていました。お祭り騒ぎの原因は、デンマーク代表チームのサッカー欧州選手権決勝トーナメント進出です。サッカーはデンマークでもとても人気があり、大きな大会はいつも熱狂的に応援します。けれども2021年は特別でした。なぜならこの大会は、長いロックダウンの後、社会生活全体を慎重に再開していった時期と、大きなスポーツイベントを皆で楽しむ感動を待望していた人々の気持ちが合致したからです。この大会はデンマーク代表チームとファンを当惑させる出だしでスタートしました。グループリーグ初戦のフィンランド戦の試合中に、29歳のスター選手が心停止で倒れました。チームメイトや医師たちの必死の努力によって彼が助かったという知らせがあるまで国中が息を凝らし、最終的に試合が再開されたとき、試合にデンマークが負けたとしてもそれを悔やんだりする人は誰もいませんでした。友情や思いやりが、はっきりと勝敗に取って代わったのです。代表チームは次のベルギー戦で敗れましたが、チームの新たな才能や優れた組織力が多くの専門家を驚かせました。困難な状況にもかかわらず、ファンは決勝トーナメントに進出できると信じ始め、次のロシア戦ではあらゆる世代のデンマーク人が、デンマーク中のバーや公園に設置された大型スクリーンの前に集まりました。2021年の夏はめったにないほどに暑く、通常デンマークのビール会社は責任を持って飲酒するよう強く勧めますが、今回は皆特別だと思いました。デンマークはロシア戦で4得点をあげ、お祝いにはビールを好きにだけ飲むというデンマーク人のやり方で心ゆくまで勝利を祝いました。街で祝杯をあげている写真(右上)を見ると、まずたくさんの国旗に気づくでしょう(ビールが宙を舞っているのはさておき)。国旗が(他の多くの国と同様に)狭量な民族主義の象徴になった時代を超えて、デンマーク人は、人々の希望さえ絶ちかねなかったパンデミックという禍に直面した際にあつてなお、楽観主義や連帯感を掲げる象徴として国旗を取り戻したのです。ビール、国旗、ホットドッグがマスクや消毒液にとって代わり、デンマーク人は自らの心に近いこと(友人や家族など楽しく過ごす良い仲間)を取り戻しました。代表チームは準決勝のイングランド戦で雄々しく戦いましたが幸運は尽きてしまいました。しかし代表チームが暗闇の呪いを打ち破り、ここ数年で最高の夏をもたらしてくれたことに全てのデンマーク人が賛同するでしょう。(J. Ring)



コペンハーゲン港でのスイミング



コペンハーゲンはAD800年頃から開拓され、1167年に要塞都市となった古い港湾都市です。初期の頃から北欧やバルト海の産業や運送の中核でした。その結果、工業化の時代に水は非常に汚染され、水にわざわざ飛び込むのは愚か者や泥酔した人だけでした。しかし、20世紀の終わりにかけて次第に経済活動の形態が変化し、運送や重工業は首都から離れた場所に移転しました。当初、古い鉄道線路は高く伸びた雑草に覆われ、レンガ造りの建物は放置され崩れ落ち、この港湾地域は廃墟のようになりました。この地域を活気づける為に、市は約25年前に港を清掃し、新しい世代の居住者により適したレクリエーションスペースに変えることを決定しました。水質改善の処置がとられ、現在港ではカヤック、水泳、都市農業や釣りなどの活動で賑わっています。牡蠣やムール貝、海藻などの海産物の栽培をするNGOもあります。注目は、街を流れる運河の中心にある”havnebade”というスイミングエリアです。ここでは、コペンハーゲンの市民が安全で綺麗な水の中で水泳やダイビングを楽しむことができます。水温は春は11度前後から夏でも19度前後までで、日本と比べると高くないかもしれませんが、冷たい水は冬の厳しい気候を耐えることにプライドを持っているデンマーク人を思いとどまらせません。実際、2020年~2021年の暗い時期のロックダウン期間にとっても冷たい冬の海で入浴する人々が急増しました。科学的な根拠があるとは言えないかもしれませんが、冷たい冬の水浴が私たちの抵抗力を高めるということだったのでしょ。人々の都市環境の改善と人々の生活の質の向上が一体であるということです。現在、暗い冬は遠ざかり、初夏は誰もが記憶しているよりも暑くなりました。デンマークのオフィスビルでは無駄で不必要なものだと考えられている為、エアコンがないことがよくあります。とても暑い日にこっそりオフィスを抜け出して昼休憩の間すばやく海に浸かる同僚を見るのも珍しいことではありません。何人かは、スイミングエリアに行くことすらせず近場から飛び込みます。それは全く安全で、コペンハーゲン最大の水の遊び場を楽しんでいるカヤックや釣り人の気をひきつけるだけなのです。(J. Ring)



デンニッシュマークは安心ポークの証し

デンニッシュマークは、良質なデンマーク産豚肉を使用した製品やメニューに表示されています。



サッカー欧州選手権の大奮闘/コペンハーゲン港でのスイミング

世界一飲酒運転に厳しいデンマーク

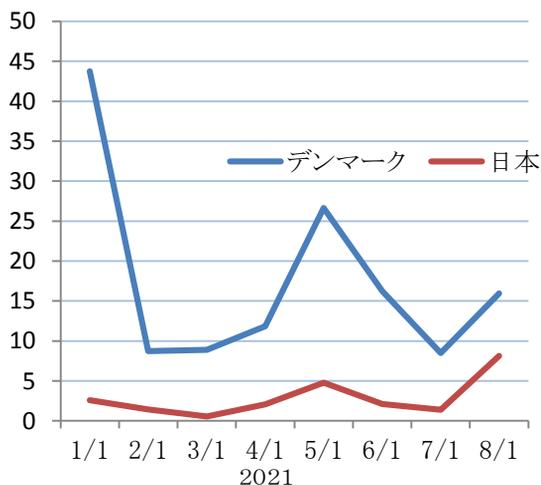
世界一飲酒運転に厳しい国と言われるデンマークは、長年飲酒運転による事故に対峙してきた国です。一人当たりの飲酒量は世界でも上位で、国家警察によると交通事故の死者の2割は飲酒運転が原因です。飲酒運転を減らす為の啓発キャンペーンは30年以上前から続いてきました。飲酒の機会が増える夏やクリスマスの時期にはテレビや映画館などで繰り返し啓発CMを放映しています。2005年に、3年以内に飲酒運転を含め3回の重大な交通違反があれば、違反者の所有するすべての車を没収する仕組みを導入しました。2014年には悪質な飲酒運転者を対象に、基準値の4倍に当たる、呼気1L中1mg以上のアルコール検出をした場合、初犯でも車を没収する改正案が議会を通過しました。その際、車はその場でレッカー車で没収、委託先の民間業者によってオークションにかけられ、売却益は国庫に入ります。それだけでなく、運転免許の取り消し、最低でも月収1か月分の罰金も課せられます。罰則強化の効果か、2007年に17000人だった飲酒運転の検挙者は2015年には6300人に半減しました。



アルコール探知機を模した看板
デンマーク語で「準備はできていますか?」と書かれている

編集後記

暑い日々が続いていますが皆様いかがお過ごしでしょうか? 今号ではスポーツに関する記事を2つ掲載しました。今回のオリンピックは自宅で画面越しの観戦でしたがアスリートの皆さんが競い合う姿に胸が熱くなりました。日本でもデンマークのようにまた賑やかに観戦できる日が来ることを願います。EY.AF



10万人あたりのコロナウイルス感染確認者数 (人)

東京2020オリンピック

2021年7月21日～8月8日開催された東京2020オリンピック。デンマークは金メダル3個、銀メダル4個、銅メダル4個獲得という結果でした。



デンマーク

金 3 銀 4 銅 4

合計 11



ビクトル・アクセルセン選手
(バドミントン男子シングルス)



ミカエル・モルク選手
ラッセノーマン・ハンセン選手
(自転車トラック男子マディソン)

バドミントン男子シングルの桃田賢斗選手との対戦が期待されていたビクトル・アクセルセン選手が、見事金メダル獲得。その他、自転車競技(トラック男子マディソン)、セーリング(セーリング女子レーザーラジアル級)の2競技で金メダルを獲得しました。8月24日から始まるパラリンピックでの活躍も楽しみですね。

☆保冷エコバッグプレゼント☆

ご好評につき、保冷機能素材を使用したエコバッグを抽選で10名様にプレゼントいたします。

♪プレゼント応募あて♪

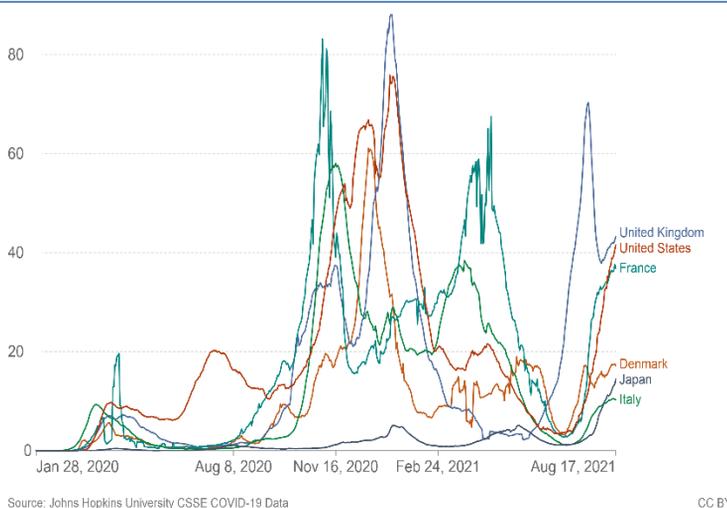
ご希望の方は、貴社名、氏名、住所、電話番号をご記入の上、下記メールアドレスまでご応募下さい。

メールアドレス: info@danishforum.jp

件名は《保冷エコバッグプレゼント応募》と入力して下さい。

2021年9月30日締め切り。

当選発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。たくさんのご応募をお待ちしております。



10万人あたりの国別コロナウイルス感染確認者数 (人)



デンリッシュマークは、良質なデンマーク産豚肉を使用した製品やメニューに表示されています。

